

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第360525号
起案日	平成14年10月30日
特許庁審査官	平塚 政宏 9041 4G00
特許出願人代理人	岩橋 文雄(外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

(1) この出願の請求項1-5, 9, 10に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

(2) この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第36条第4項及び第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

#### ○理由(1)

##### ・請求項1, 2, 9

貴金属元素を有する変成触媒体の使用は、出願人も熟知する文献1-6にも示されるように本願出願前に周知である(特に文献6には、Ceを含有するものが記載されている)。

そして、変成反応の原料ガスは改質反応ガスであって、改質器と変成器の組合せは自明であるところ、改質反応に貴金属元素を活性成分とする触媒を用いることは本願出願前に周知である(要すれば文献7, 8参照)。

##### ・請求項3

前記に加えて、銅系触媒の併用は、一酸化炭素の変成反応において文献を示すまでもなく本願出願前に周知である。係る事項の採択により格別な効果があるものとも認められない。

##### ・請求項4, 5

前記に加えて、担体基材の特定は、一酸化炭素の変成反応装置を具体化する際

の設計的事項である。係る事項の採択により格別な効果があるものとも認められない。要すれば、出願人も熟知する文献 9 参照。

・請求項 10

前記に加えて、貴金属元素を活性成分とする CO 浄化触媒を、変成触媒体の下流側に連結することは、本願出願前に周知である（要すれば、文献 10 - 12 参照）。

○理由 (2)

・請求項 3

発明の詳細な説明によれば、本願発明は、運転停止や作動を繰り返した場合の酸素混入による影響を無くすことを目的としている（段落 8）ところ、銅系触媒を設置した場合には、係る目的が達成できない。

引用文献等一覧

1. 特開平 2 - 69301 号公報
2. 特開平 5 - 258764 号公報
3. 特開平 10 - 236802 号公報
4. 特開昭 50 - 84490 号公報
5. CATALYSIS TODAY, 1996 年, 30, pp.107-118
6. J. CATAL., 1985 年, 96, pp.285-287
7. 特公昭 39 - 29435 号公報
8. 石油学会誌, 1977 年, 20, 2, pp.109-114
9. 特開昭 58 - 161901 号公報
10. 特開平 9 - 320624 号公報
11. 特開平 9 - 180749 号公報
12. 特開平 8 - 119602 号公報

-----  
先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野      IPC 第 7 版    C01B3/40, 3/58
- ・先行技術文献      特開昭 62 - 250095 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

なお、請求項 6 - 8 に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しないが、前記先行技術文献に留意されたい。拒絶の理由が新たに発見された場合は拒絶の理由が通知される。この拒絶理由通知の内容に関する問合せ先は、以下まで。

[書類名] 拒絶理由通知書  
[特許] H10-360525

[発送日] 2002.11.05  
[発送番号] 368254

頁: 3/ 3

特許審査第三部 無機化学(セラミックス) TEL. 03(3581)1101 内線3465

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS